レッスン：SPA50

テーマ：シンボルの使い方の説明

SPA50/MY/13/8

私の姉妹・兄弟達、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主なる聖性に抱かれています。

前回のレッスンで述べたように、三面ピラミッドおよび五面ピラミッドが軸を中心として上から下まで回転し始める理由は気づきの上昇以外の何ものでもありません。気づきが上昇すると自動的にピラミッドが回転します。そして回転の結果として一面ピラミッドが形成されます。そして説明したように、一面ピラミッドは同時にあらゆる方向に広がっていく意識を意味します。これが生じるということは勿論、現在のパーソナリティーが徐々に少しずつ五つの超感覚をより意識的に現していることを意味します。

そして現している、と言いましたが、それは自分自身を現す上でもっともっと五つの超感覚を使っているということです。言い換えれば、五つの超感覚がそれ自身を現すのではなくて、そのパーソナリティーが五つの超感覚を使用して自らを現すということです。しかし、説明したように、現在、人間はそうと気づかずに潜在意識的に五つの超感覚を使用しています。つまり、人間は今でもそうと知らずに一面ピラミッドを現している、ということです。

勉強のために、私たちは三面ピラミッドおよび五面ピラミッドの回転を止めます。なぜなら、一面ピラミッドがそれ自身を或る程度現すということは、誰もが今でも三面および五面ピラミッドを回転させているということです。誰もが或る程度何を現しているのでしょうか？思考、ある程度の記憶、或る程度のファンタジーその他です。そしてこれら全ては五感でなく五つの超感覚を使用することによって現されています。ですから今でも一面ピラミッドを有しているのです。

それを持っていますが、完全ではありません。そうです、原型、イデアとしてはそれは完全ですが、気づきのレベルとしてはそれは完全ではありません。気づきは一面ピラミッドの高さと完全度を示します。このことは他のピラミッド、三面および五面ピラミッドについても当てはまるでしょうか？当てはまりません。なぜなら、あなた方はそれらのピラミッドをエーテルの特質を使うことによって、思考を使うことによって築くことができるからです。創造エーテルは今のところ使うことはできませんが、あなた方は或る程度これらのピラミッドを築くことができます。そして前回のレッスンで述べたように、創造の法則のなかにはイデアとしてそれらのシンボルがあります。それらは生それ自体の素質的可能性のサイクルのなかにあり、そして前回のレッスンで述べたように、創造の法則のなかにはイデアとしてそれらのシンボルがあります。それらは生それ自体の素質的可能性のサイクルのなかにあります。生の？魂のセルフ・エピグノシスとして、です。

ですから、気づきの上昇のために助けとしてあなた方に与えられたこれらの知識は私たちによって与えられるのではなく、私たちを通じて与えられるのです。なぜなら、全ては原型、イデア、法則、原因のなかに準備されているからです。

それらのシンボル、ピラミッドについては、説明したように、それぞれ二つを有しています。一つは気づきと理解のレベルに従って現在のパーソナリティーが築くもの、もう一つは法則によって提供されるものです。

勿論、誰かがこのピラミッドをマスターすると、探究者によって築かれるピラミッドは法則によって提供されるものとマッチするでしょう。言い換えれば、人によって築かれたものは、法則によって提供されるものと同一になります。そして、それが生じるということは、その現在のパーソナリティーは素質的可能性の特定のサイクルによって提供される素質的可能性を完了させたことを意味します。前のレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーの部屋のなかには素質的可能性の二つのサイクルがあります。

Page2

最初のサイクルについては多くは話しません。なぜなら、この素質的可能性のサイクルにいる間は、人はこれらのピラミッドのベース（下部）にすらフォーカスせず、そうすることができないからです。そして現在のパーソナリティーが二番目のサイクルに入ると、その時初めて現在のパーソナリティーはピラミッド（それが三面、五面、あるいは四面ピラミッドであれ）の各面の下部にフォーカスし始めるようになります。そして実際、三面および五面ピラミッドは現在のパーソナリティーが四面ピラミッドをマスターすることを助けます。なぜなら、現在のパーソナリティーが部屋を去る準備ができているか否かを決めるのは部屋のなかの小さな四面ピラミッドだからです。現在のパーソナリティーが部屋を去る準備ができているか否かは、このピラミッドのマスターにかかっています。その後は現在のパーソナリティーは次の素質的可能性のサイクルに入り、それは前に述べたように大きな四面ピラミッドのなかです。

大きな四面ピラミッドのなかでは全部で三つの素質的可能性のサイクルがあります。前回述べたように、五番目のサイクルには範囲というものがなく、それは点です。なぜなら、このサイクルをマスターするのは時間・空間の意味を超えた所で生じるからです。現在のパーソナリティーが四番目のサイクルをマスターすると、自動的に五番目のサイクルが加わり、そこには何の努力もありません。なぜなら、五番目のサイクルは自分自身を現すのに五つの超感覚を使用するという能力のみならず、同調するという能力をも現在のパーソナリティーに与えるからです。勿論これが生じる時、現在のパーソナリティーは現在のパーソナリティーの自己実現に到達しており、現在のパーソナリティーは宇宙のなかで「活動する」時に五芒星を使用するだけでなく、六芒星をも使用します。そして六芒星はスーパーサブスタンスの海のなかで使われる唯一の乗り物です。五芒星を乗り物として使うことはできません；五芒星はこの惑星の引力という制限のなかでのみ使うことができます。この引力の外で使用できる乗り物は六芒星なのです。

さて、まず最初に現在のパーソナリティーは部屋、および小さな四面ピラミッドのなかでのみフォーカスします。これらの建物、つまりシンボルのなかで行うべきワークはたくさんあります。この部屋は現在のパーソナリティーがこのステートにいる間、現在のパーソナリティーに多くを提供します。何を提供するでしょうか？現在のパーソナリティーが部屋を去るために必要なものを何でも提供します。なぜなら、部屋のなかの他の全てのシンボルは部屋のなかにあるからです。部屋は何も提供してくれないからそこから出なければならない、などとは決して思わないでください。とんでもないことです。この部屋には全てが提供されています。素質的可能性の二つのサイクルもこの部屋のなかです。無知にいる間、現在のパーソナリティーを守るのもこの部屋です。なぜなら、前に述べたように、無知というのは時には幼児を守ってくれます。そして現在のパーソナリティーがこの部屋を後にして去ることが可能となるまでは、決して部屋のドアーを開くべきではありません。

さて、先に述べたように、最初のサイクルにいる時には現在のパーソナリティーはまったくフォーカスしません、それらのピラミッドの底部にすらフォーカスしません。そして二番目のサイクルに入った後、現在のパーソナリティーは側面の下部にフォーカスし始め、徐々にゆっくりと上にフォーカスするようになります；その意味は気づきが上に移動するということです。その意味は現在のパーソナリティーが蓋然性のサイクルをたくさん現すようになる、ということです；それらのさまざまな蓋然的可能性のサイクルに入ります。「蓋然性」？そうです、なぜなら、それら全てはいかなるイデア、いかなる法則からも提供されていないからです。蓋然的可能性の特定のサイクルに入るのはその現在のパーソナリティー次第です。

それでは三面ピラミッドの色について述べましょう。正面の角の右側の面はホワイト・ピンク、左側はホワイト・ブルー（水色）、そして背後の面は金色です。

さて最初、つまり現在のパーソナリティーが各サイドの底部に極近い部分にフォーカスしている間は、それがホワイトピンク、水色、金色であろうとも、底部に近い部分の色しか認識することができません。なぜでしょうか？前に述べたように、現在のパーソナリティーが前を見ていても、気づきのレベルが高さを決めるからです。そうと気づかなくても、あなたは目の前にあるものに直接フォーカスせず、底部に極近い部分にフォーカスするのです。例え、ピラミッドのその面全体をカバーしているホワイトピンクを見ることができる、とあなたが言う時でも、実際には見ていません。実際には底部に近い部分だけを見ているのです。

一生懸命にワークする結果として、気づきが徐々にゆっくりと上昇すると、それらの色の輝きが変化し、それらはますます明るく輝くようになります。

さて五芒星の色については、前のレッスンで述べたように、それらはあなた方に与えられますが、今ではありません。なぜなら、今のところ私たちは部屋の中、および四面ピラミッドのなかでとても真剣なワークを始めるからです。そして現在のパーソナリティーが物事をもっとクリアーに見るようになったら、現在のパーソナリティーがそれらのシンボルを触れることができるほどはっきりさせることができる時、その時初めて他のシンボル、他のピラミッドのなかでワークをすることになります…三面ピラミッドあるいは五面ピラミッドのなかで。

部屋のなかで自分自身を見るのは良い練習になります。その後で小さな四面ピラミッドに実体を与え、あなた方はそれをできるだけ何回も繰り返します。何を繰り返すのですか？繰り返し、実体を与えるのです。最初は部屋に、次に四面ピラミッドに、その後あなた方はその四面ピラミッドを非物質化し、部屋だけの状態に戻します。そうすることによって、部屋のなかの状況にもっと気づいているステートに到達する必要があります。次のエクササイズはその練習に役立つでしょう。

**SPA 50/ エクササイズ　１**

静かに座り心を騒がせるもの全てを解き放ちます…あなたは純白に包まれており、自分の身体の境界を感じています、あなたは純白の五芒星のなかにいて守られています。そして小さな四面ピラミッドに実体を付与することによって、あなたはそのピラミッドの中央に立っています、今、小さな四面ピラミッドのなかにいます…そして正面の純白の光にフォーカスしています…

右に90度回転し、赤の輝きにフォーカスします…あなたの前にある輝きにフォーカスします…しばらくの間この光の中でフォーカスした後、あなたは今その光の中、奥の方に一つの像のようなものを見ることができます…その像の正確な形や細部はよくわかりませんが、その像は人間の形に非常に似ている何かを意味していることがわかります…それはあなたの前の輝きと同じ色をしています…いずれにしても、その像はとてもぼんやりしています…

さらに右に90度回転し、水色の光の輝きにフォーカスしています…しばらくフォーカスしていると、この光のなかに前と同じようなことが生じます…色は違いますが、前と同じ形をしたものが見えます

左に180度回転し、再び白い輝きに面していますが、そこにはフォーカスしません…今の位置から左に90度回転し、今あなたはウルトラ・バイオレットの色にフォーカスしています、あなたの前の面から来るウルトラ・バイオレットの光です…しばらくそれにフォーカスしていると、前と同じことが生じ、この光の奥の方に像が見えます…でもそれは漠然としています…

右に90度回転し、再び目の前にある純白の輝きにフォーカスします…今、この白い輝きにフォーカスし、しばらくするとピラミッドの他の面で見えたのと同じ形の像が見えてきます…あなたがそれにフォーカスすればするほど、その像、イメージが二重になっていることがわかります…それを見た瞬間それは一つに見えますが、次の瞬間それを見ると二つ見えます…そこには動きがあり、あたかも二つが一つになっているようです…両方ともそっくり同じに見えます…

さて、あなたがいる四面ピラミッドを消し、自動的にあなたは部屋のなかにいます…今あなたは部屋のなかにいて、なかの様子は前から知っています…非常に気持ちの良い霧がかかったような感じで、実際それは物質のバイブレーションのなかであなたが自分自身を現している手段を活性化させます…言い換えれば、それはあなたの肉体のステートを生き生きと活性化させます…しかし同時にそれは現在のパーソナリティーが部屋の環境に気づくのを遮っています…目の前にフォーカスすると、五感を使って完全に部屋のなかを見通すことができませんが、徐々に少しずつこの霧のかかった部屋のなかで白い輝きが漠然と見えてきます…同じ事が他のサイドからの他の輝きについても生じます…

右に90度回転すると赤の輝きについても同じことが生じます…さらに90度右に回転すると、また同じことが生じます、しばらくすると非常にぼんやりとした水色の輝きが見えてきます…それでは左に180度回転し、その位置からさらに90度左に回転します…するとそのサイドでも同じ事が生じ、この霧のなかで徐々にぼんやりとウルトラ・バイオレットの光が見えてきます…

それでは右に90度回転し、前に体験したことを体験します…ぼんやりとした白の輝きを見ます…それでは小さな四面ピラミッドを再び実体化させ、自動的に前にこのピラミッドのなかで体験したことを体験します…前と同じことを全て体験します…その後、再びこの小さなピラミッドを非物質化させて消します…すると自動的に、何も考えなくても、再びあなたは部屋にいます…そして部屋のなかで行うことを経験した後、再び小さな四面ピラミッドを物質化させ、続けます…。

あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を祈ります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**質問**：部屋のなかで回転するとき、なぜ元の位置に戻り、それからまた回転するのでしょうか？

**答え**：理由があります。しかしそれは言葉では説明できません。それは法則によって与えられたものであり、ここでは説明しません。それはいわば法則それ自体によって決められているものです。それは私たちが提供するものではなく、与えられたものであり、私たちはそれを受け取り、そして提供しています。勿論、人は何であれ法則によって与えられたものにアプローチ可能になるようにできていますが；それは簡単なことではありません。それゆえに、時間のなかにおいて（＊歴史という時間において）、それらのリアリティーに対して異なったアプローチ、やり方があるのです。なぜならそれらはリアリティーだからです。創造の不動の法則内にあるものは何であれリアリティーです。

**質問**：私の質問はピラミッドに関するものではなく、あなたが話し始める時の言葉です。あなたがスピリット、光、火の子供達と言いますが、それは三つ組みですがそれは何を象徴しているのですか？

**答え**：それは私たちの真の本質、つまり「生それ自体」を象徴しています。子供達である私たちではありません、私たちは現在のパーソナリティーとしては子供たちです。しかし、生それ自体としては私たちはスピリット、光、そして火なのです。

**質問**：それをキリスト教の三位一体、あるいはヒンズー教の三位一体と関係づけることはできるのでしょうか？

**答え**：それはリアリティー、絶対リアリティーである「生それ自体」の三位一体です。それがキリスト教からアプローチしようと他の信念形態からアプローチしようとそこに違いはありません。このリアリティーを変えることは不可能です。私たちはスピリットであり、私たちは勿論、生それ自体として光であり、また火でもあります。しかし、どの火でしょうか？エレメントの火でしょうか？違います、エレメントとしての火ではなく、「生」としての火です。いずれにしても火として私たちが意味しているものを説明する言葉はありません。それは触媒であるエレメントの火ではありません。実際、全くエレメントとは違います。

**質問**：五芒星の各腕（＊頂点のこと）、それはそれぞれ色が異なっているのですか、それとも同じ色なのでしょうか？例えば、私たちが扱っている四つの色があります…水色、赤、紫、そして金色です。五芒星のエーテルの五つの腕はそれらの五つの色を意味しているのでしょうか？

**答え**：もし五芒星を「生命の木」の正しい位置に置くと、それはあたかも太陽のごとくであり、その太陽は特定の色の輝きを放っています。あるシステム、ある派ではそれらのセンター、それらの太陽から沢山の色が外側に向けて放射されている、と言っています。私達にとって重要なことは、現在のパーソナリティーが特定のセンターをマスターする時に輝く光です。その輝きだけが非常に重要なのであり、マスターする以前の様々な光の輝きではありません。

Page5

ですから、そのセンターに関しては水色（ホワイトブルー）、純粋な水色の輝きがあります。それは純粋であり、そのセンターをマスターすること、それは五芒星のセンターであり、それはミクロコスモスである人間にとって太陽神経叢と一致します。さて、次のセンターは前にレッスンで触れたセンターですが；それは実際何を決めるのでしょうか？現在のパーソナリティーに関して言えば、現在のパーソナリティーが最初の磔に到達した、それはつまり現在のパーソナリティーが自己実現している、言い換えれば自己実現に到達しているということです。このセンターは「生それ自体」の世界にありますが、自己実現に到達した現在のパーソナリティーはこのシンボルを現在のパーソナリティーの世界のなかで、つまり実存の世界のなかで使うことができます；それはいわゆるキリスト意識です。キリスト教においてはこのシンボルは最高のシンボルです。

勿論、高い地位にいる僧ですらこのリアリティーに気づいていません、勿論このシンボルは信念としてのキリスト教だけのものではありません。幸いなことに、それはこの諸宇宙、このリアリティーにおけるすべての人間のためのものです。他の異なった派からこのリアリティーにアプローチするということ、それは問題ではありません。そして私たちがそれに与える輝きの色、それは完全にマスターした時のみです。限界ある現れのなかで自己を現している誰かを見る時、その時には別の色を見ます。

あなた方のなかには他のアプローチ（＊派、教え）を学んだ人がいるかもしれませんが、そこではこのセンターが多くの色で輝いているのを見たかもしれません。それをマスターするまではそうなのです。それが完全に成長するまでは。しかし、サイコノエティカルな成長の結果、そのセンターが輝くようになると、そのセンターは純粋なホワイトピンクの輝きを発するようになります。それは一色であり、二色ではありません。一色であるホワイトピンクです。同じ事はホワイトブルー（水色）についても言えます。それは二色ではなく一色です。このセンターはハートのセンターと一致します。そして次のセンターは頭のセンターと一致します。そこでは純粋な金色が輝きます。これらが現在のパーソナリティーを構成する三つのセンターです。肉体のなかにいる現在のパーソナリティーです；なぜなら実際、現れとしての現在のパーソナリティーはこれら二つのセンターだけだからです。というのも、現在のパーソナリティーとは思考・行動の仕方以外の何ものでもないからです。私たちがこれらのバイブレーションにおいて（＊実存の世界を意味する）他の二つの体と三番目の体を直接的に使っているかどうかは、全く別問題です。そして現在のパーソナリティーの本当の世界（それはサイコノエティカル界ですが）で、現在のパーソナリティーはそうと気づかずに現在のパーソナリティーの本当の感覚、つまり五つの超感覚を使っています。

ですから、今のところ、五芒星の唯一の色は以前のレッスンで述べたように、純白です。しかし、それに対応するセンターの色は水色です。

さて、六芒星の色は何色でしょうか？六芒星の色は金色ですが、それに対応する聖なるセンターの色はホワイトピンクです。なぜでしょうか？なぜなら、そのセンターはセルフ・エピグノシスのセンターでもあり同時に意識のセンターでもあるからです。それはその上のセンターと直接つながっています。しかしそのセンターは意識のみのセンターです。言い換えれば、聖霊的(Holyspiritual)なセンターのみです。それゆえに、太陽神経叢のセンターは同時に肉体の健康状態をも決定するのです。そしてあなた方も知っているように肉体は純粋に聖霊的なものであり、肉体は聖霊によって築かれ、維持されています。

**質問**：このピラミッドのエクササイズで像を見ますが、それらの像には私たちが面している方向の色があるのでしょうか？

**答え**：そうです。その「形」をどのように決めることができるでしょうか？それは形なので何か線のようなもの、あるいは何か、明るくなくて暗いもの、その他、それらが形を決めます。

**質問**：三面ピラミッドのワークは停止し、四面ピラミッドに集中した方が良いでしょうか？

**答え**：そんなことはありません。これまで提供されたものをやることができます。練習する必要があります。しかし、四面ピラミッドおよび部屋のなかでもっとエクササイズを提供するようになります。

**質問**：見るとき…なぜ二つ、ダブルになるのでしょうか？

**答え**：白の輝きのなかになぜ二つが見えるのか？何故でしょうか？過去にエクササイズをやった人は２年ほど前にそれらのエクササイズをやりました。そして時に知識も与えました…つまり、純白の輝きのなかであなた方はウリエルに「会う」のみならず、あなたの現在のパーソナリティーを活性化する純粋なスパークにも会うと述べました。そのスパークにどのようにして会うのでしょうか？肉体としてのあなた自身と同一の像であるスパークと会うのです。

ですから、実際、そのサイドでは二つの像が創造されます。創造ではなく視覚化、イメージされると言いましょう。そのサイドを司っているのはウリエルだけでなく、そのサイドは現在のパーソナリティーの純粋なセルフをも意味しています。いいですか、小さな四面ピラミッドのなかでも部屋のなかでも、エクササイズは過去に行ったのを同じように従ってください。なぜなら、過去に与えられらエクササイズには共通する一般的なものがあるからです。ですから、その知識を使って、より意識的に部屋のなかでエクササイズを行います。

**質問**：七芒星はあるのでしょうか？

**答え**：七芒星ですか？七芒星は現在のパーソナリティーのためのものではありません。それは魂のセルフ・エピグノシスとしても生それ自体のためのものです。七芒星は、魂にとって七つのヘブンがもはや必要ではなくなり、魂は奉仕するためにのみここに留まるステートに到達したことを意味します。それは自己実現した魂のセルフ・エピグノシスを示し、その魂が、あるいはその人が二番目の磔に到達したことを意味します。最初の磔は六芒星、二番目の磔が七芒星です；Ｂ４からC５より上に関しては私たちは何も知りません（＊エレブナの生命の木の絵に付与されている番号）。そこは魂がテオーシスに入り、一つになるステートです。それは人間のイデアを通じてスピリット・セルフがそれ自体から微細なスパークを経験するステートです。なぜなら、そこで人間のイデアが始まるからです。しかし、それ自身を現すスパークはこのポジションであり、ここからここまではモナド・セルフのなかにおける黙想としての聖なる活動です。絶対の神の黙想ではありません。

私たちは何もわかりません。その理由は誰も「生」の諸世界に入って、現在のパーソナリティーとして戻ってきた人はいないからです。

**質問**：哲学ではそれについて述べ、それはあなたが前に素質的可能性の五番目のサイクルについて触れたことと関係しています。彼らはその周辺がどこにもなく、全てが中心であるポイントについて述べています。あなたが述べているポイント、あるいは素質的可能性の五番目のサイクルはそのポイントなのでしょうか？

**答え**：私は彼らが何について触れているのか知りません。しかし、意識があらゆる所に広がって、現在のパーソナリティーの自己実現のそのステートに到達するのなら、そうです。そこでは全てはポイント、あらゆる所にあります。しかし、あなたの言うその哲学がそれについて述べているのか否かについては、私は知りません。

**質問**：そうだと思います。それはピタゴラス派の教えです。

**答え**：勿論、ギリシャの哲学には多くの知識がありますが、詳しくは述べていません。

EREVNA/SPA50/KE8/M13/5/8